

For research use only  
Not for use in diagnostic procedures



# iMatrix-111

Product No. 892 071 350 µg  
Product No. 892 072 1,050 µg

Version 002  
Store at 2-15°C

**製品概要:** iMatrix-111 は、ヒトラミン 111 のインテグリン結合部位を含む E8 フラグメント領域を CHO-S 細胞に発現させた組換えタンパク質です。全長ラミン 111 と同様のインテグリン  $\alpha 7 X 2 B 1$  や  $\alpha 6 B 1$  に対する結合活性を示します。培養容器にコートすることで、多能性幹細胞から肝前駆細胞や肝細胞、神経細胞への分化誘導をサポートします。インテグリン  $\alpha 7 X 2 B 1$  や  $\alpha 6 B 1$  を発現し、ラミン 111 に接着するその他の細胞の培養にも有用です。

**内容物:** 組換えヒトラミン 111-E8 タンパク質

**形状:** 液状品

**溶媒:** 20 mM リン酸バッファー, 250 mM NaCl

**タンパク質濃度:** 0.5 mg/mL

**内容量:** 175 µg / 0.35 mL / tube

Product No. 892 071 350 µg / 2 tubes

Product No. 892 072 1,050 µg / 6 tubes

**保存方法:** 遮光して、2-15°C で保存してください。

**有効期限:** 有効期限は、製造日から 2 年です。有効期限は外箱に記載しております。上記保存方法にて保存し、有効期限内にご使用ください。

**活性:** ヒトインテグリン  $\alpha 7 X 2 B 1$  との結合活性が、解離定数 2 nM 以下を示します。

**使用例:** iMatrix-111 の使用例として、下記の方法のように培養容器にコートして使用することができます。コーティング濃度は、細胞の種類や株、培地、目的によって異なります。 コート不足の場合、細胞の剥離や細胞の状態にばらつきが見られることがあります。逆に、コート過多の場合、継代時に細胞がはがれにくくなる場合があります。

## コート法

最初に 0.5 µg/cm<sup>2</sup> を基準にして 0.1-2.0 µg/cm<sup>2</sup> の範囲で培養に最適なコーティング濃度を検討してください。

- 1) iMatrix-111 を PBS (-) で希釈します。希釈はコーティング直前に行ってください。(0.5 µg/cm<sup>2</sup> でコートする場合、面積 9.6 cm<sup>2</sup> / ウェルの 6 ウェルプレートでは、1 ウェルあたり 9.6 µL の iMatrix-111 を PBS (-) で 2 mL に希釈してコートします。)
- 2) iMatrix-111 希釈液を入れた培養容器を 37°C で 1 時間、室温で 3 時間、4°C で一晩のいずれかの条件で静置します。

- 3) コーティング液を吸引除去後、速やかに細胞を播種します。コート面を乾燥させないようにしてください。

※継代時に細胞がはがれにくい場合は、コーティング濃度を下げた条件でご検討ください。

※コート法での使用は一例なので、その他の使用方法もお試しいただけます。

## 参考文献:

Taniguchi Y. *et al.* (2009) *J. Biol. Chem.* **284** (12), 7820-31

Doi D. *et al.* (2014) *Stem Cell Reports* **2** (3), 337-50

Takayama K. *et al.* (2017) *Hepatol. Commun.* **1** (10), 1058-69

Kiyozumi D. *et al.* (2020) *Life Sci. Alliance* **3** (2), e201900515

Guo G. *et al.* (2021) *Cell Stem Cell* **28** (6), 1040-56

**注意:** 本製品は試験研究用です。人体には使用しないでください。本製品を誤って吸飲した場合や、目に入った場合は、速やかに洗浄し医師の診察を受けてください。

**製品情報:** 参考文献や Q&A 等の最新情報を株式会社マトリクソーム Web ページ内で随時更新しております。下記 URL または QR コードよりご確認ください。

**販売元:** 株式会社 マトリクソーム

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2

大阪大学蛋白質研究所共同研究拠点棟

電話: 06-6877-0222 Fax: 06-6877-0002

Contact: <https://matrixome.co.jp/contact>

URL: <https://matrixome.co.jp>



**製造元:** 株式会社 ニッピ

〒120-8601 東京都足立区千住緑町 1-1-1